



オプション装置説明書

エア式クランプ枠 2

エア式ポケット枠 2

はじめに




このたびは、タジマ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解されたうえで機械をご使用ください。

尚、詳細において製品の仕様と異なる場合があります。ご不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

安全についての表記と意味




機械の取り扱いにおける注意事項を以下のように表記しますのでお守りください。

表記	表記の意味
 危険	死亡、あるいは重傷 ^{※1} となる危険性がきわめて高い注意事項
 警告	死亡、あるいは重傷 ^{※1} となる可能性のある注意事項
 注意	軽傷 ^{※2} 、あるいは物的損害が生じる可能性のある注意事項



※1：感電、怪我、骨折などで後遺症をもたらすもの、あるいは治療に入院や長期の通院を要するもの。

※2：治療に入院や長期の通院を要さないもの。

本文中で使われる図記号の意味は以下のとおりです。

図記号	図記号の意味
	禁止事項
	感電するおそれのある事項
	安全のために守っていただきたい事項

その他の表記について

表記	表記の意味
	縫い上がりなどに影響する注意事項を示します。
	知っておいていただきたい知識、知っておくと便利な知識を示します。

免責事項ほかについて

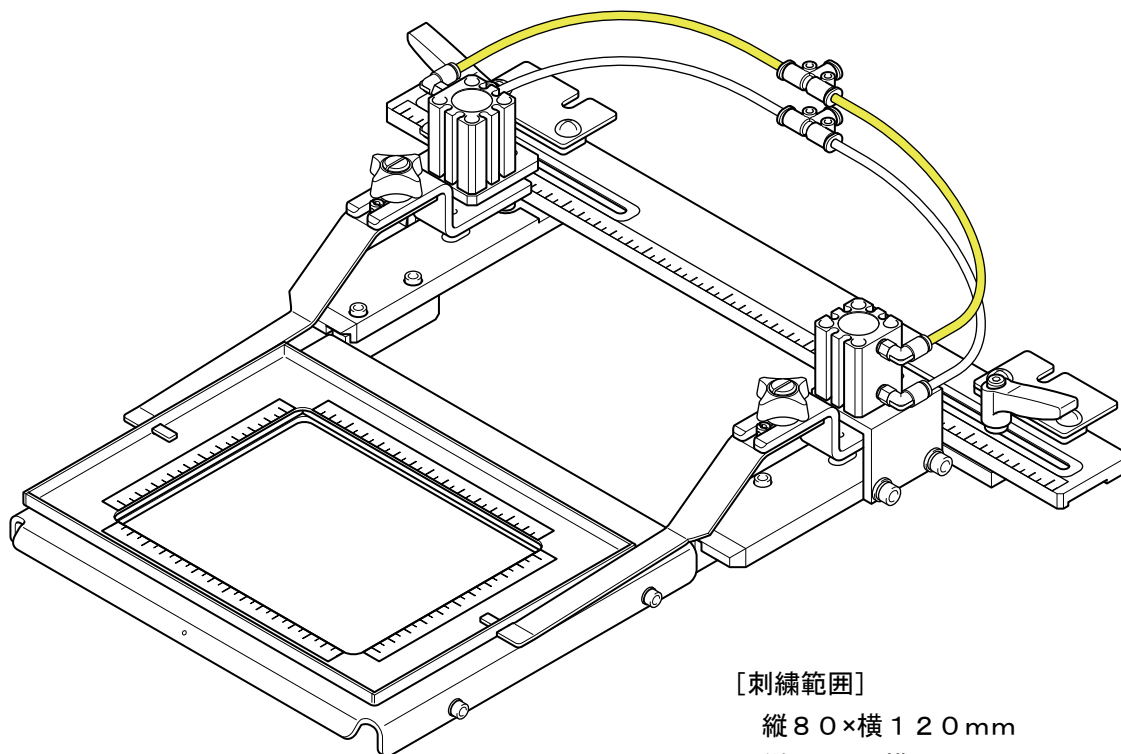
- ・ 機械の外観や仕様、およびマニュアルの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ マニュアルの記載内容を守らないことにより生じた損害、およびマニュアルに記載された内容以外の修理、分解、改造による故障・損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 弊社の承諾なく、マニュアルの一部または全部を複写、複製、転写することを禁じます。

目次

1. 枠の種類	5
1-1. クランプ枠	5
1-2. ポケット枠	5
2. 部品の取り付け	6
2-1. ソレノイドバルブの組み付け	6
2-2. TMEZ-SC、TMBR2-SC、TMBP2-SC	7
2-3. TMBP2-XC	10
3. 枠の切り換え	13
3-1. 枠ユニットの取り外し	13
3-2. 枠ユニットの取り付け	13
4. エア設定と調整	15
4-1. エア設定	15
4-2. 押えの開閉速度調整	15
5. 操作パネルの設定	16
5-1. 枠設定	16
6. フットスイッチ	18
6-1. 操作方法	18

1. 枠の種類

1-1. クランプ枠



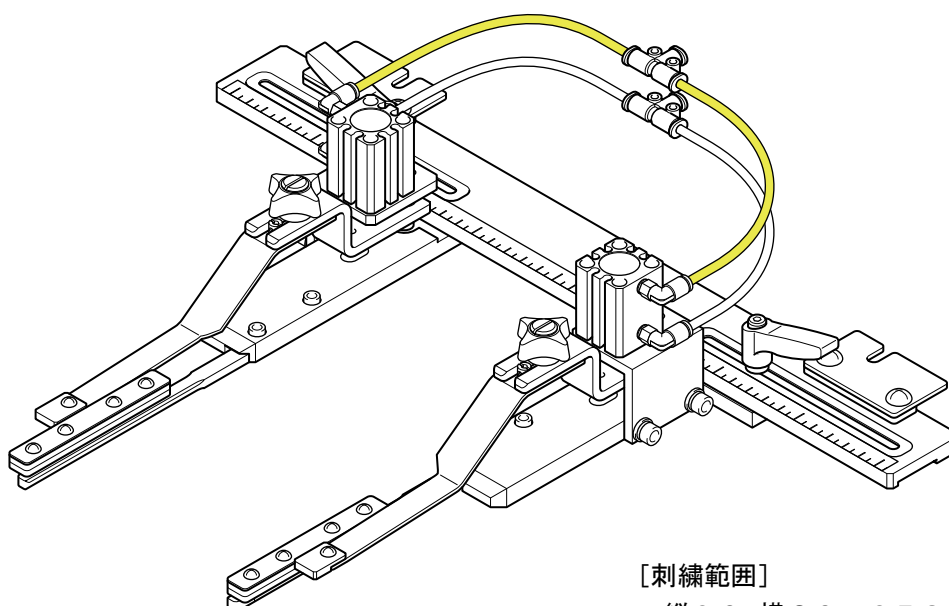
[刺繍範囲]

縦80×横120mm

縦110×横140mm

縦140×横200mm

1-2. ポケット枠



[刺繍範囲]

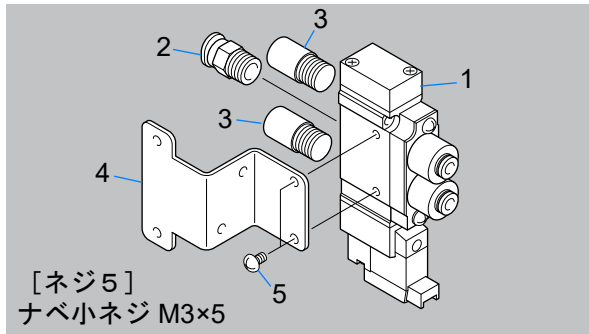
縦90×横30~258mm

2. 部品の取り付け



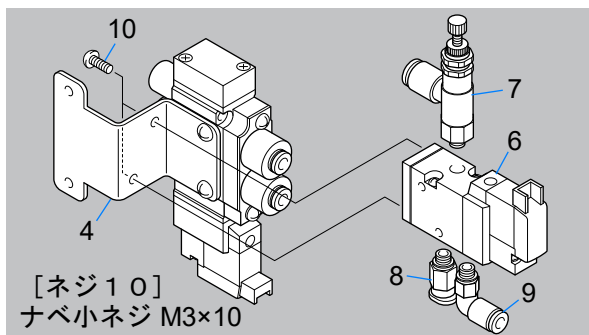
・すでに部品が取り付けられているときは、『3. 枠の切り換え』≫P.13にすすんでください。

2-1. ソレノイドバルブの組み付け



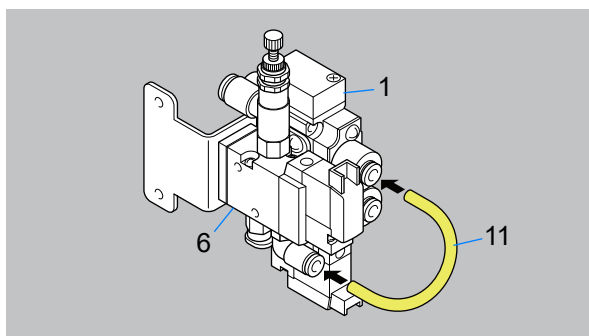
1 ソレノイドバルブ1にハーフユニオン2、サイレンサ3を取り付ける。

2 ソレノイドバルブ1をブラケット4にネジ5で取り付け。

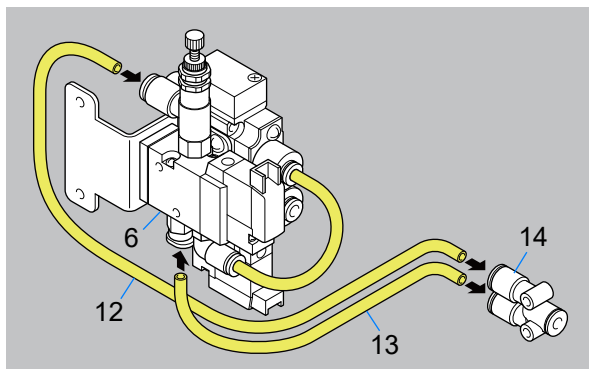


3 ソレノイドバルブ6にミニチュア減圧弁7、ハーフユニオン8、エルボユニオン9を取り付ける。

4 ソレノイドバルブ6をブラケット4にネジ10で取り付け。



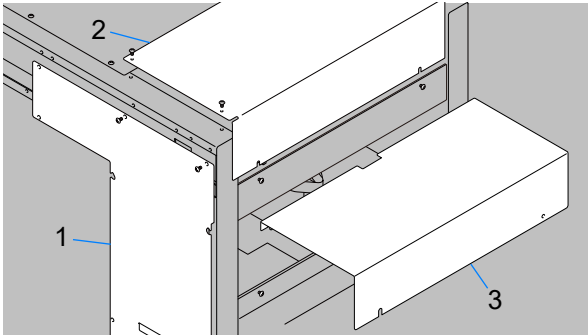
5 ソレノイドバルブ1と6をφ4チューブ(黄)11で連結する。



6 ソレノイドバルブ6の上下にφ4チューブ(黄)12、13を接続し、ユニオンワイ14に連結する。

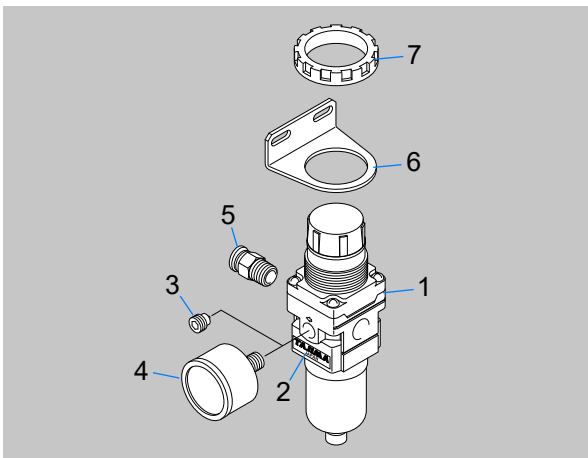
2-2. TMEZ-SC、TMBR2-SC、TMBP2-SC

カバー

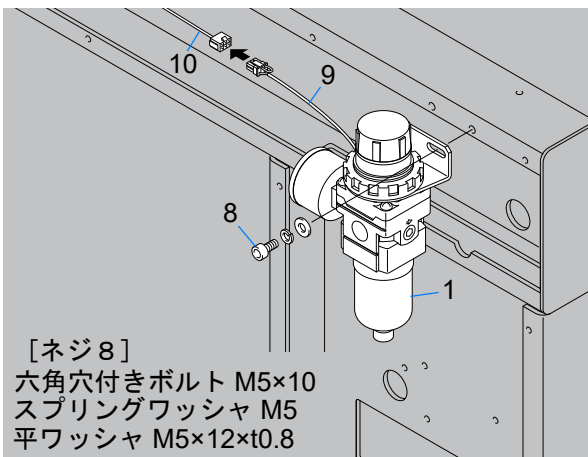


- 1 カバー1、2、3を外す。

レギュレータ



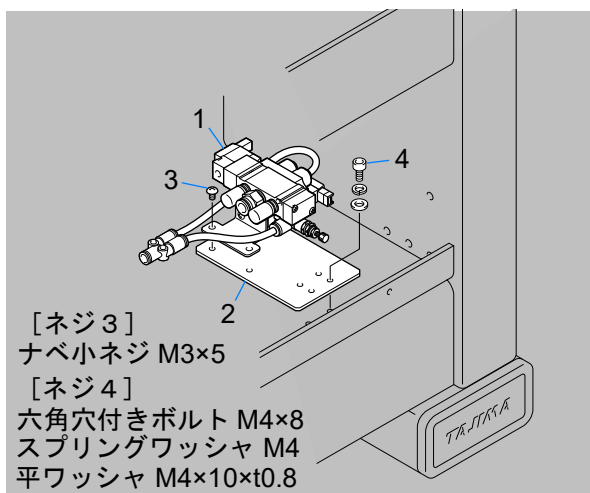
- 1 レギュレータ1のシール2が貼ってある方のキャップ3を取り外し、圧力計4を取り付ける。
- 2 レギュレータ1にハーフユニオン5を取り付ける。
- 3 レギュレータ1にブラケット6をナット7で取り付ける。



- 4 レギュレータ1を本機にネジ8で取り付ける。
- 5 レギュレータハーネス9とセンサハーネス10を接続する。
- 6 センサハーネス10を制御基板のCN5に接続する。

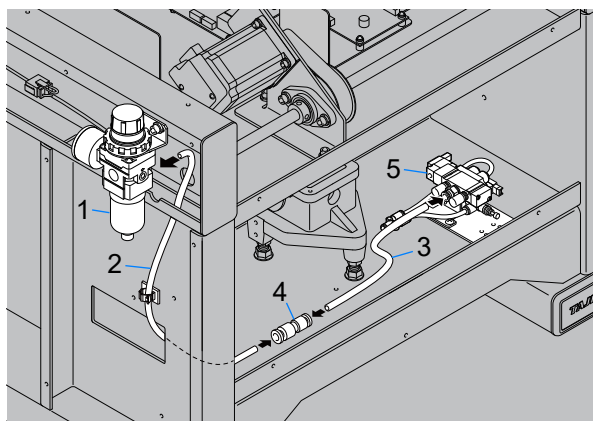
2. 部品の取り付け

ソレノイドバルブ



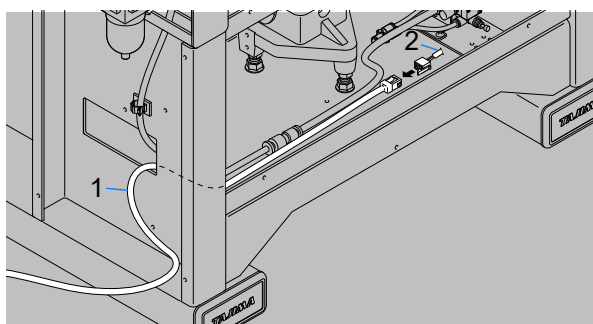
- 1 ソレノイドバルブ 1 をブラケット 2 にネジ 3 で取り付ける。
- 2 ブラケット 2 を脚内部にネジ 4 で取り付ける。

レギュレータの接続

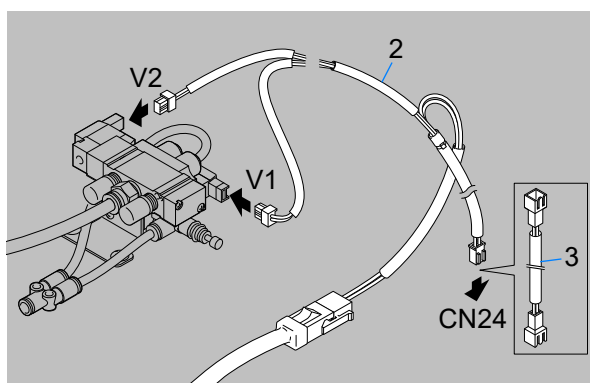


- 1 レギュレータ 1 に $\phi 8$ チューブ 2 を接続し、 $\phi 8$ チューブ 2 と $\phi 6$ チューブ 3 を異径ストレート 4 で接続する。
- 2 $\phi 6$ チューブ 3 をソレノイドバルブ 5 に接続する。

フットスイッチ

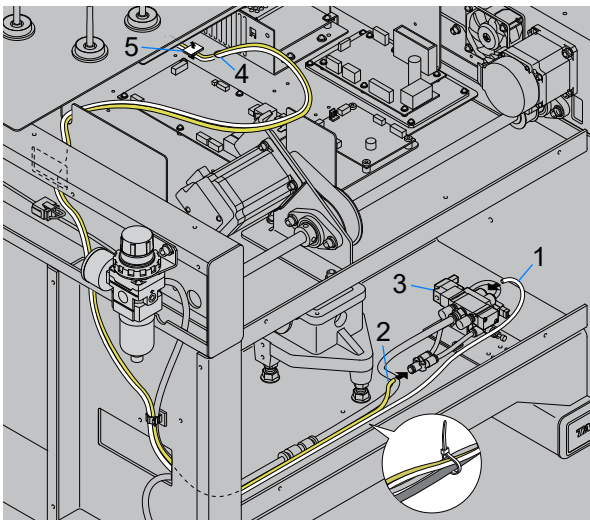


- 1 機械側面からフットスイッチハーネス 1 を挿入し、中継ハーネス 2 に接続する。



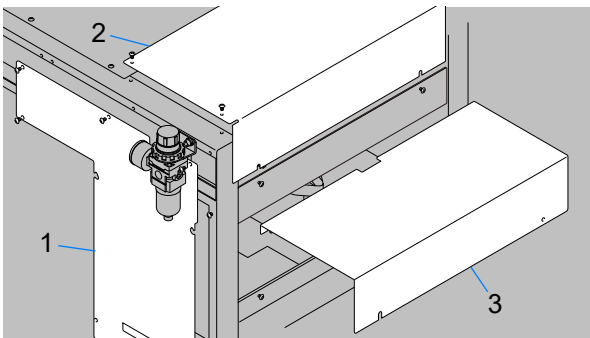
- 2 中継ハーネス 2 をソレノイドバルブ (V 1、V 2) と制御基板のコネクタ CN 2 4 に接続する。
TMEZ-SC の場合は中継ハーネス 2 にジョイントハーネス 3 を接続し、ジョイントハーネス 3 を制御基板のコネクタ CN 2 4 に接続する。

配管



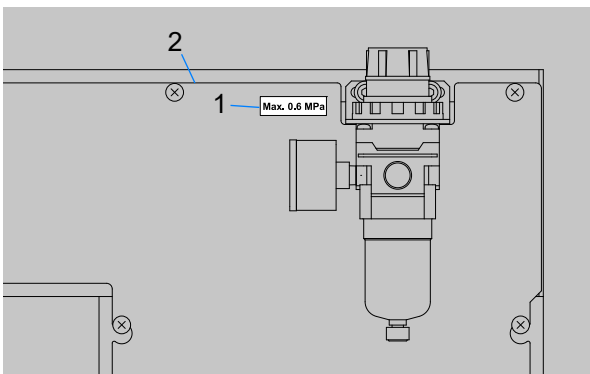
- 1 ϕ 4チューブ（白）1と ϕ 4チューブ（黄）2をソレノイドバルブ3に接続する。
- 2 ϕ 4チューブ1、2を親側ボックス内を通して電装ベースの穴4から外へ出す。
- 3 クランプ5を電装ベースの下面に貼り付け、 ϕ 4チューブ1、2を固定する。
- 4 配線、配管が終わったらハーネスやエアチューブを結束する。

カバー



- 1 オプション用のカバー1、取り外したカバー2、3を取り付ける。

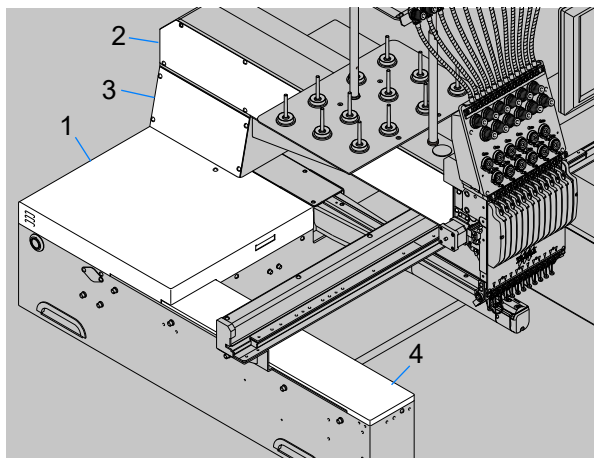
圧力表示シール



- 1 圧力表示シール1をカバー2に張り付ける。

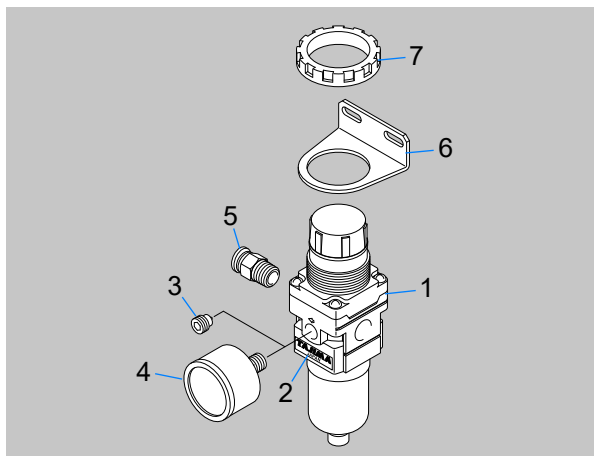
2-3. TMBP2-XC

カバー

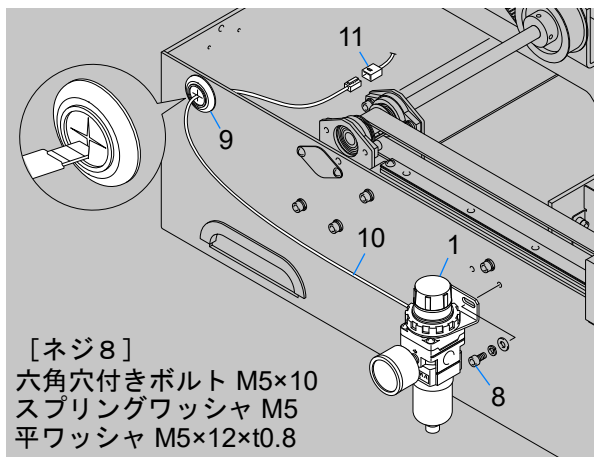


- 1 カバー 1、2、3、4を外す。

レギュレータ

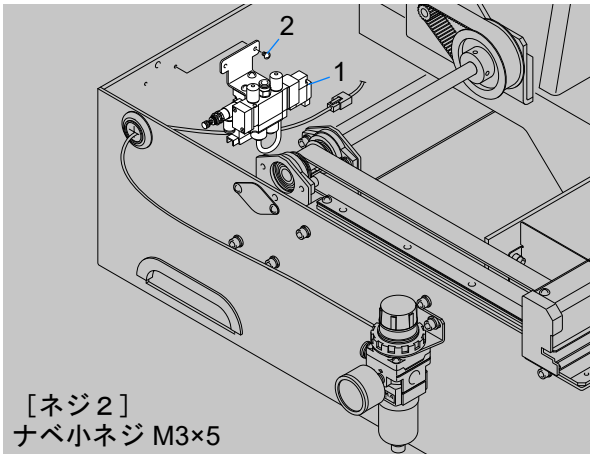


- 1 レギュレータ 1 のシール 2 が貼ってある方のキャップ 3 を取り外し、圧力計 4 を取り付ける。
- 2 レギュレータ 1 にハーフユニオン 5 を取り付ける。
- 3 レギュレータ 1 にブラケット 6 をナット 7 で取り付ける。



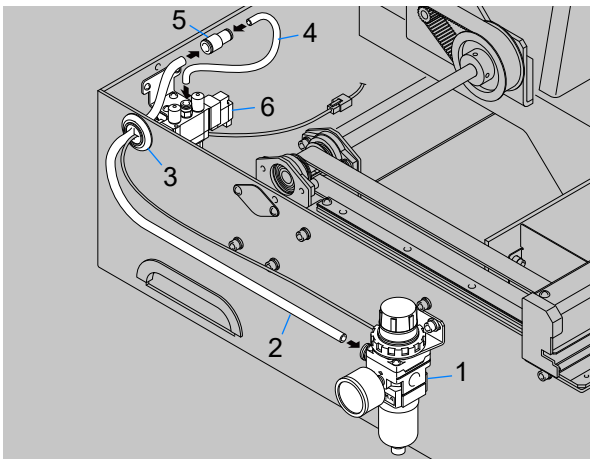
- 4 レギュレータ 1 を本機にネジ 8 で取り付ける。
- 5 グロメット 9 に十字の切り込みを入れ、レギュレータハーネス 10 を挿入する。
- 6 レギュレータハーネス 10 とセンサハーネス 11 を接続し、センサハーネス 11 を制御基板の CN 5 に接続する。

ソレノイドバルブ



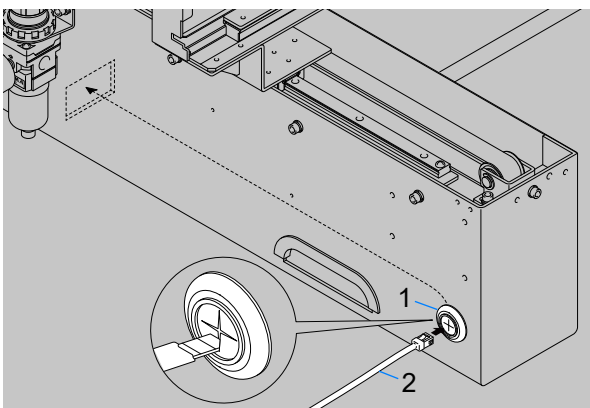
- 1 ソレノイドバルブ 1 を脚内部にネジ 2 で取り付ける。

レギュレータの接続

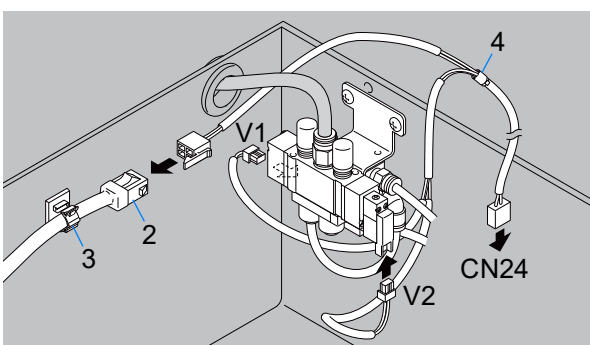


- 1 レギュレータ 1 に $\phi 8$ チューブ 2 を接続し、グロメット 3 に挿入する。
- 2 $\phi 8$ チューブ 2 と $\phi 6$ チューブ 4 を異径ストレート 5 で接続する。
- 3 $\phi 6$ チューブ 4 をソレノイドバルブ 6 に接続する。

フットスイッチ



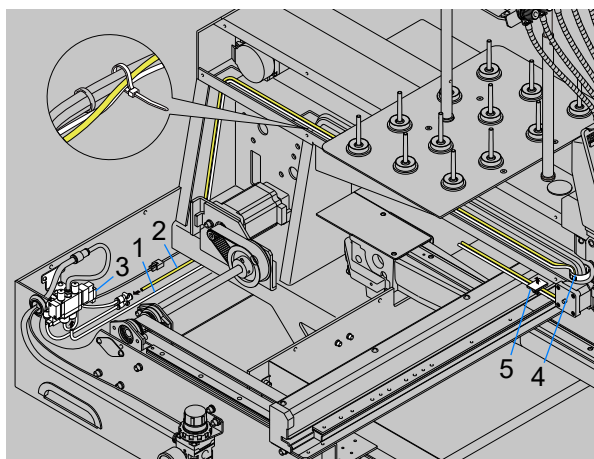
- 1 グロメット 1 に十字の切り込みを入れ、フットスイッチハーネス 2 を挿入し、機械後方に導く。



- 2 脚の側面にクランプ 3 を貼り付け、フットスイッチハーネス 2 を固定する。
- 3 フットスイッチハーネス 2 を中継ハーネス 4 に接続する。
- 4 中継ハーネス 4 をソレノイドバルブ (V 1、V 2) と制御基板のコネクタ C N 2 4 に接続する。

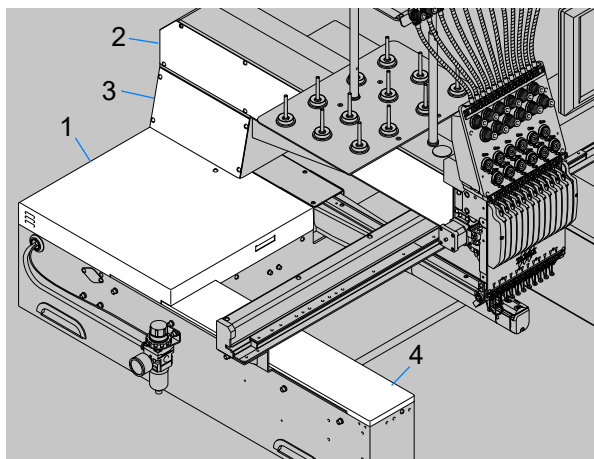
2. 部品の取り付け

配管



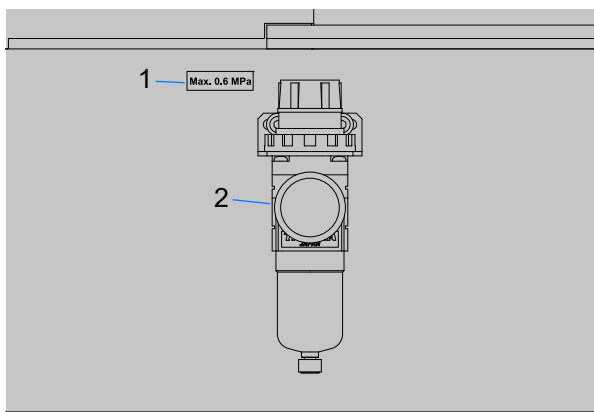
- 1 ϕ 4チューブ（白）1と ϕ 4チューブ（黄）2をソレノイドバルブ3に接続する。
- 2 ϕ 4チューブ1、2をアーム内を通して下面の穴4から外へ出す。
- 3 クランプ5をアーム下面に貼り付け、 ϕ 4チューブ1、2を固定する。
- 4 配線、配管が終わったらハーネスやエアチューブを隣接する電線と合わせて結束する。

カバー



- 1 カバー1、2、3、4を取り付ける。

圧力表示シール



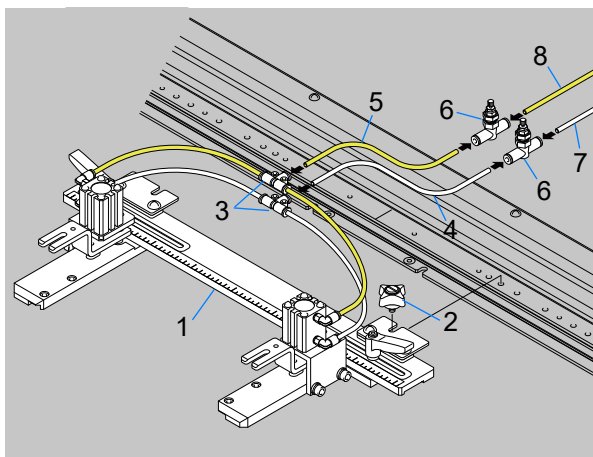
- 1 圧力表示シール1をレギュレータ2の周辺に張り付ける。

3. 枠の切り換え

3-1. 枠ユニットの取り外し

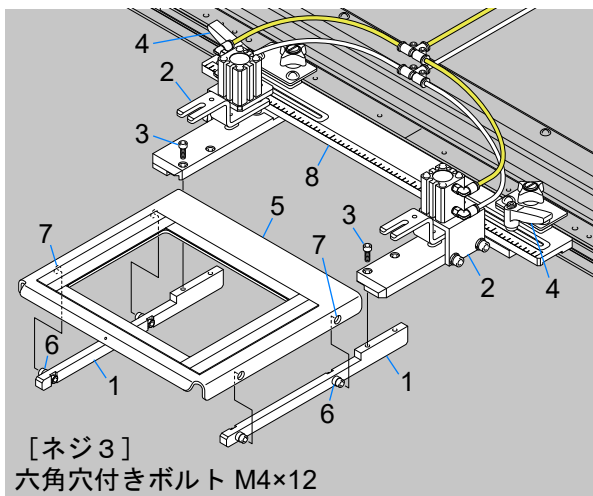
今付いている枠ユニットを取り外します。

3-2. 枠ユニットの取り付け

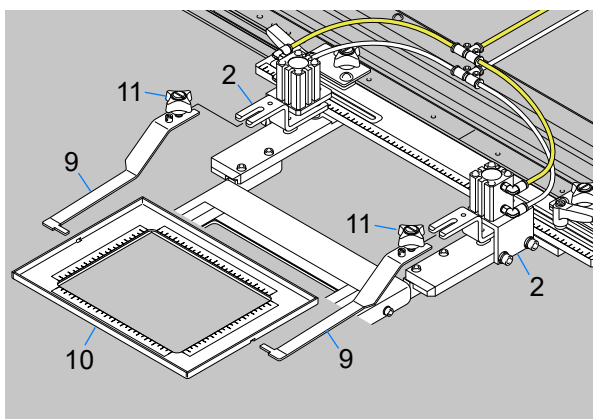


- 1 ベース枠 1 をノブ付ねじ 2 で取り付ける。
- 2 チーズ 3 に $\phi 4$ チューブ (白) 4 と $\phi 4$ チューブ (黄) 5 を接続する。
- 3 $\phi 4$ チューブ (白) 4 と $\phi 4$ チューブ (黄) 5 にスピードコントローラ 6 を接続する。
- 4 スピードコントローラ 6 にソレノイドバルブから導いた $\phi 4$ チューブ (白) 7 と $\phi 4$ チューブ (黄) 8 を接続する。

クランプ枠



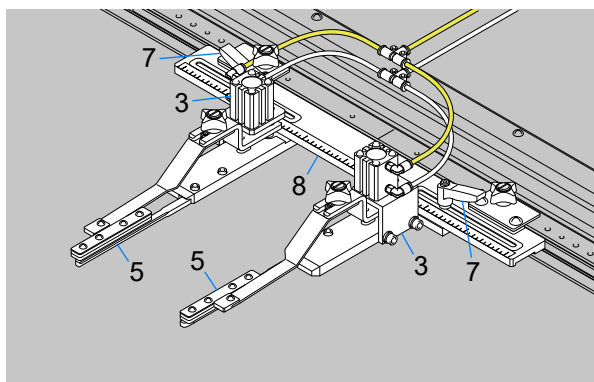
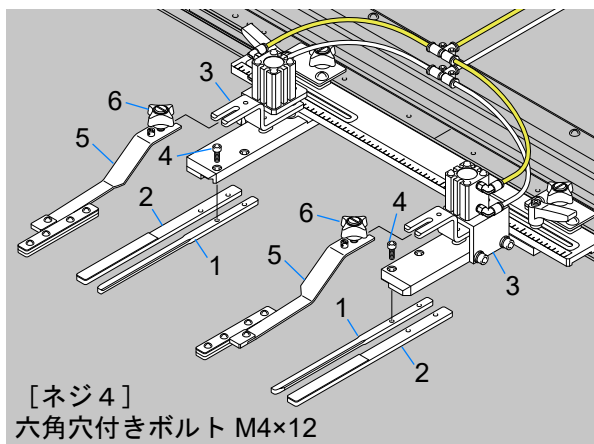
- 1 受け 1 を押えユニット 2 にネジ 3 で取り付ける。
- 2 レバー 4 を緩め、押えユニット 2 を内側に移動する。
- 3 基枠 5 を受け 1 の上に乗せ、押えユニット 2 を外側に移動して受け 1 のスペーサ 6 を基枠 5 の穴 7 に挿入する。
- 4 基枠 5 とベース枠 8 のセンターを合わせ、レバー 4 を締めて押えユニット 2 を固定する。



- 5 押え 9 の先端を押え枠 10 の中央の穴に挿入する。
- 6 押え 9 を押えユニット 2 にノブ付ねじ 11 で取り付ける。

3. 枠の切り換え

ポケット枠



- 1 生地ベース A 1または、生地ベース B 2を押えユニット 3 にネジ 4 で取り付ける。

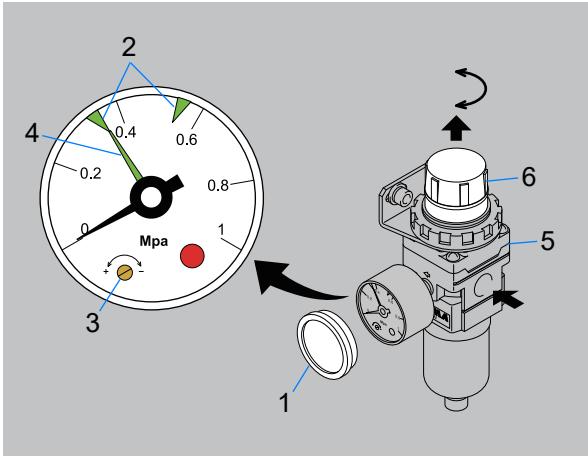


・生地ベースBは保持力強化タイプです。

- 2 押え 5 を押えユニット 3 にノブ付ねじ 6 で取り付ける。
- 3 レバー 7 を緩め、押えユニット 3 を移動して押え 5 の間隔を調整する。
- 4 押え 5 とベース枠 8 のセンターを合わせ、レバー 7 を締めて押えユニット 3 を固定する。

4. エア設定と調整

4-1. エア設定

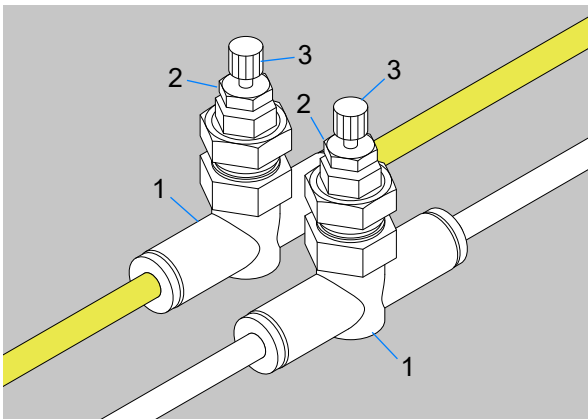


- 1 圧力計のカバー1を外し、インジケータ2を0.35～0.55Mpaに設定する。
- 2 マイナスドライバで設定ねじ3を回し、緑色の指針4を0.35Mpaに合わせる。
- 3 レギュレータ5にエアを供給する。
- 4 レギュレータ5のつまみ6を引き上げて回し、圧力を0.55Mpaに調整する。
- 5 つまみ6を下げて、カバー1を元に戻す。

4-2. 押えの開閉速度調整



・スピードコントローラはエアの流量を調節して、押えの開閉速度や押えの強さを調整できます。



- 1 スピードコントローラ1のロックナット2を緩める。
- 2 ノブ3を回して押えの開閉速度を調整する。



- ・ノブを時計回りに回すと開閉速度が遅くなり、反時計回りに回すと速くなります。
- ・白チューブは上昇速度、黄チューブは下降速度を調整します。
- ・フットスイッチを操作して押えの開閉を行い、押えの開閉速度を見ながら調整してください。

- 3 ロックナット2を締める。

5. 操作パネルの設定

5-1. 枠設定

⚠ 注意

⊘ 枠の周囲に手を近づけたりしないでください。枠が移動するため、指や手を負傷するおそれがあります。

1 電源を「ON」にする。



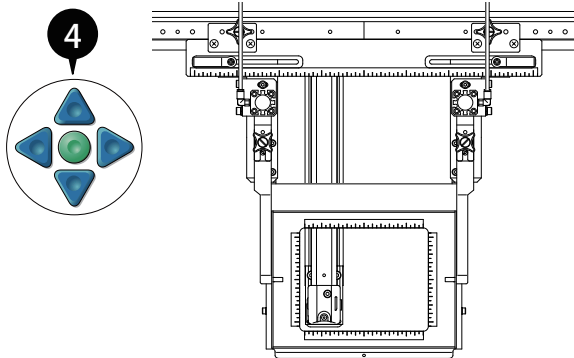
- 絶対原点サーチ実行の画面が表示される場合は手順2から行ってください。
- 絶対原点サーチ実行の画面が表示されない場合は手順4から行ってください。


2  を押す。

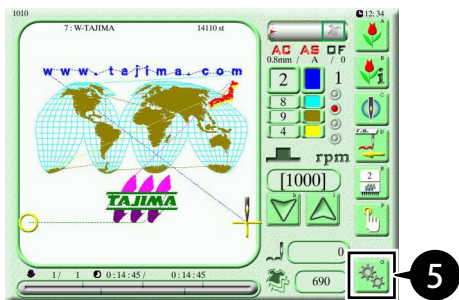
3 枠が動き出したら、すぐにストップスイッチを押す。

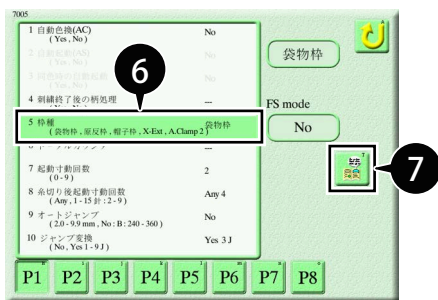


4 枠移動キーを操作して枠を左手前へ移動する。




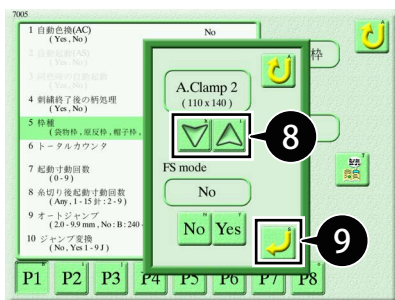
5 メイン画面の  を押す。






6 [5. 枠種] を選択する。

7  を押す。




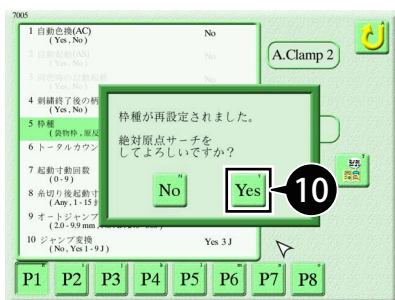
8  を押し、取り付けたサイズの [A.Clamp 2] にする。



• ポケット枠の場合は本設定を行う必要はありませんが、[A.Clamp 2 (80×120)] を選択することをお勧めします。

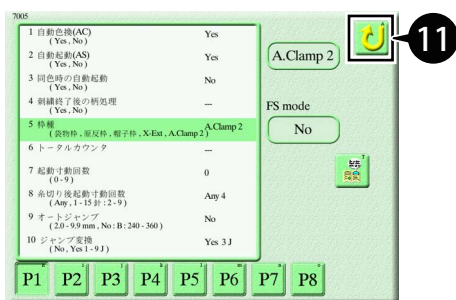
9  を押す。

10  を押す。



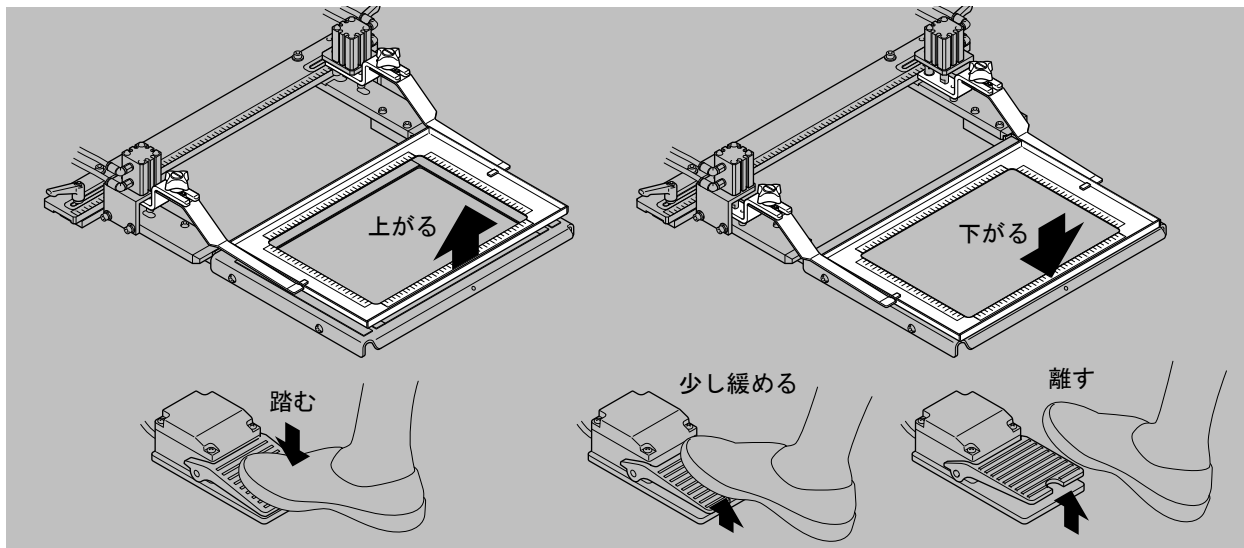
11  を押す。

メイン画面に戻ります。



6. フットスイッチ

6-1. 操作方法



フットスイッチは2段階（弱／強）で生地を押えます。

- (1) フットスイッチを踏むと、押えが上がります。
- (2) フットスイッチから足を少し緩めると押えが弱く押えられ生地を動かすことができます。
- (3) フットスイッチから足を離すと押えが強く押えられます。



・フットスイッチを踏んだときに押えが下がるときは配管が間違っています。正しく配管されているか確認してください。

初 版 2018 年 11 月

第 3 版 2024 年 8 月

■製造元：株式会社 **TISM**

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町 1800 番地

TEL：(0568)33-1161 (代表) FAX：(0568)33-1191

■販売元：タジマ工業株式会社

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町 1800 番地

TEL：(0568)37-1130 (代表) FAX：(0568)37-1230

●本書の一部または全部を無断で複製、転載、改編することを禁止します。